

日 時 2012 年 6 月 22 日 金曜日 17:30～19:00

場 所 建築学会会議室

出席者：益田主査、他 9 名

## 審議議題

### 0. 前回議事録

平成 24 年度第一回につき無し

### 1. 資料

・資料 1-1 企画案（益田主査）

### 2. 第 31 回環境振動シンポジウムのテーマ案（企画案）

案例：「人と環境振動の繋がり」（益田）

- 1.1 人との生活の中に環境振動をもっと身近に捉えられる方法論はないか。
- 1.2 騒音なら○dB という表現は、感覚的に捉える一般人はいる。しかし、振動の場合、震度階のようなものは理解されやすいが、○gal とか○kine の表現は理解されるか。
- 1.3 水平振動、鉛直振動の認知度は。振動レベル○dB は馴染みがあるのか。建築の設計者やデベロッパーの理解も容易か。苦情には何が用いられているか。過去にも何回かそれらの議論はされてきているが、親しみやすい形でそれを世に問えないか。長周期振動はどう認知されているか。  
測定手法にしても気づかれない計測点で継続的に、面的に計測された情報を、目に見える形で人との融和へのアプローチにならないか。

- ・石川研究室の振動と感覚
- ・環境評価小委員会の説明性 WT
- ・広域計測の現状
- ・（上記に付随して）住宅における環境振動計測からの知見
- ・東日本大震災の長周期と各小委員会からの講演題目を募集する。

→動員数の多かったテーマを取り上げてはどうか。

→小委員会の活動状況を報告

→企業の興味のあるテーマ、対策や評価、指針など

→環境振動の測定法は進化してきているので発表はどうか、計測なら個々の小委員会から報告できる

→計測法小委員会を主として「広域計測」はどうか

→戸建て住宅の苦情と対策、サンプル数が多い

→人を重視するなら「都市と人と環境振動のつながり」はどうか

→苦情 WG の立上、苦情と振動加速度の因果関係図、設計の実態、実情

→居住性能評価に言及し、環境振動の見直し

### 3. 講演者、執筆工程について

・仮題「都市と人と環境振動のつながり」

・基調講演「スカイツリー（六三四）と環境振動 東武鉄道に打診  
耐風、耐震の話が欲しい：講演趣旨を作成する

・講演内容仮案

①広域計測の展望

②武蔵境駅付近の住宅の研究報告

③環境省 振動マニュアル（振動の見える化、外部加振力）

④家屋内振動の実例

⑤ランダム振動（実振動）での評価・設計指針

なお、シンポジウムで環境振動測定方法に関するアンケート調査について紹介し、協力を求める

・パネルディスカッションは、基調講演などで時間がとれなかった場合には省略する：  
評価曲線、経験と評価、苦情 WG

・執筆工程については運営委員会にて素案承認の後に決定する。

以上